



シャロームだより

新年あけましておめでとうございます

11月までは、暑い日が多く、12月になって急にさむくなったね…と、皆さんとお話していたのに、いつの間にか1月になってしまいました。今年も皆さんと、たくさんお話ししたり、お子さんの成長と一緒に喜び合っていきたいと思います。本年も宜しくお願い致します。

寒さも本格的になり、感染症も流行する季節になりますね。手洗いうがいを忘れず、健康に過ごしているようにしたいですね。気温だけでなく、湿度にも気を配り、過ごしやすい環境も大事にしましょう。



遊びは心の栄養

子どもにとっての遊びは、食事や睡眠と同じように毎日欠かせないものです。“心の栄養”足りていますか？

遊びは生きる力そのもの



子どもは、今自分が伸びようとする力を感じ取り、それを遊びの中で何度も繰り返して着実に獲得します。遊びによって子どもはさまざまな能力を身につけるのです。

あおむけで遊ぶ

6か月未満の時期はずっとだっこになりがちですが、あおむけに寝かせると、人やおもちゃとのかわりが生まれやすくなります。手足をバタバタさせることによって、腰もしっかりするわります。



子どもの行動にむだはありません

歩く

1歳児は、歩くこと、体を動かすこと自体が遊びです。全身を動かし、五感をフルに使って遊ぶことによって、身体感覚と自己認識を確かなものにしていきます。

子どもたちは遊びでこんな力を獲得しています

体力、運動能力、想像力、忍耐力、柔軟性、生活能力、器用さ、ルールを守る力など、机に座った勉強では獲得できない能力を、子どもは「遊び」の中で獲得します。

1 意欲・自発性



環境を探索し、挑戦することによって意欲が伸びていきます。

2 社会性、人間関係の力



大人のまねをしながら社会に必要なスキルを獲得します。かわりによって言葉も育ちます。

3 自己有能感、達成感



「できた!」「自分はうまくやれる」という自信をはくくみます。

4 思考力、認識力



物の性質・形
大きさ・重さ
感触・数
空間感覚
原因と結果 etc etc

5 情緒の安定



受け入れがたい現実を、遊びをくぐらせることによって消化します。



遊びには正解がありません。遊びのルールは、状況に合わせて柔軟に変えることができます。遊びの中では、どの子も同じように失敗を経験します。幼児期に柔軟でたくましい心を身につけた子どもたちは、苦労や挫折を軽々と乗り越えていけるでしょう。

参考文献：ひだまり通信